

第七十九回
貴族院

所得稅法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號

昭和十七年二月十二日(木曜日)午前十時
十一分開會

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ是カラ委員會ヲ開キマス

○政府委員(松隈秀雄君) 一昨日大河内子爵カラ御尋ノアリマシタ、稅務官署ニ居リマスル判任官ノ數及ビ事務經驗ノ年月ノ淺い者ノ數ノ調べデゴザイマスガ、其ノ際稅務官署ニ居リマスル判任官ノ人員ヲ約一萬人ト申上ゲタノデアリマスガ、ソレハ預金部國有財產整理費等ノ經費支辨ノ判任官迄含ミマシタ定員ニ付テ申上ゲタノデアリマシテ、内國稅關係ニ限ツテ現員デ申上ゲマスルト云フト、八千七百八十五名程ニ相成ツテ居リマス、是ハ二月末日現在デゴザイマス、其ノ中事務經驗二年未滿ノ者ヲ調べテ見マスルト云フト、二千四百三十名程デゴザイマシテ、其ノ割合ハ二割七分七厘程ニ相成ツテ居リマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハチ

ヨット大臣ノ御都合申上ゲテ置キマスガ、

今朝十時カラ一時過迄ハ大體御差支ハナ

イ、其ノ間ニチヨット數分間中座スルコト

ガアルカモ知レナイト云フコトデアリマスカ

ラ、成ルベク大臣ニ對スル御質疑ハ午前中

ニ御濟ヲ願ヒタイト考ヘマス、ソレデハ質問ヲ御願ヒ致シマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ私質問致シ

マスガ、少シ問題ガ多イノデゴザイマシテ、

時間ガ非常ニ短イ所デ餘リ一人デヤッテシ

マフノモ恐縮デゴザイマスカラ、一ツノ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

第四部第一六類 所得稅法中改正法律案特別委員會議事速記錄第五號 昭和十七年二月十二日 貴族院

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 稅務官吏ニ付キ

マシテハ私共モ直接ニ所管ノコトデアリマ

スルシ、今仰セニナツタヤウナ感ジモ相當深

刻ニ持ツノデアリマス、増俸モ致シタトイ

考ヘルノデアリマス、併シ又他ノ方面ヲ考

ヘテ見マスト、例ヘバ警察官ニ於テキマシテ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 稅務官吏ニ付キ

マシテハ私共モ直接ニ所管ノコトデアリマ

スルシ、今仰セニナツタヤウナ感ジモ相當深

刻ニ持ツノデアリマス、増俸モ致シタトイ

考ヘルノデアリマス、併シ又他ノ方面ヲ考

ヘテ見マスト、例ヘバ警察官ニ於テキマシテ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 稅務官吏ニ付キ

マシテハ私共モ直接ニ所管ノコトデアリマ

スルシ、今仰セニナツタヤウナ感ジモ相當深

刻ニ持ツノデアリマス、増俸モ致シタトイ

考ヘルノデアリマス、併シ又他ノ方面ヲ考

ヘテ見マスト、例ヘバ警察官ニ於テキマシテ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 稅務官吏ニ付キ

マシテハ私共モ直接ニ所管ノコトデアリマ

スルシ、今仰セニナツタヤウナ感ジモ相當深

刻ニ持ツノデアリマス、増俸モ致シタトイ

考ヘルノデアリマス、併シ又他ノ方面ヲ考

ヘテ見マスト、例ヘバ警察官ニ於テキマシテ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 稅務官吏ニ付キ

マシテハ私共モ直接ニ所管ノコトデアリマ

スルシ、今仰セニナツタヤウナ感ジモ相當深

刻ニ持ツノデアリマス、増俸モ致シタトイ

考ヘルノデアリマス、併シ又他ノ方面ヲ考

ヘテ見マスト、例ヘバ警察官ニ於テキマシテ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 稅務官吏ニ付キ

マシテハ私共モ直接ニ所管ノコトデアリマ

スルシ、今仰セニナツタヤウナ感ジモ相當深

刻ニ持ツノデアリマス、増俸モ致シタトイ

考ヘルノデアリマス、併シ又他ノ方面ヲ考

ヘテ見マスト、例ヘバ警察官ニ於テキマシテ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ

ル、又ソレ等ニ付テモ犯罪ノ檢舉ナント云

ハ働クヤウニ相當ヤラナケレバラヌ、殊

ニ重大ナ財產ニ關係ノアルコトナノデ、唯

普通ニ仕事ヲヤツテ行ケバ宜イト云フ、事務

ダケ處理シテ行ケバ宜イト云フ役人トハ大

分性質ガ違ツテ居ル、其ノ點カラ見テモ今ノ

儘デハ仕方ガナイ、此ノ儘推移シテ行ケ

ルシ、此ノ重大ナ時局ヲ控ヘテ相剋摩擦ヲ

各所ニ起スト云フヤウナコトモ生ジナイト

ノ限ラナイ、餘程其處ハ手心ヲ要スルト思

フノデアリマスガ、ソンナコトカラ言ツテ

モ此ノ間官吏一般ノ増俸ヲ言ヒマシタケレ

ドモ、殊ニ稅務官吏ニ於テハ焦眉ノ急グト

タイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、其

ノ問題ハソレデ打切ツテ置キマス、企畫院總裁ニ

裁モオイデニナリマシタガ、企畫院總裁ニ

ニデモ致シマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ私質問致シ

マスガ、少し問題ガ多イノデゴザイマシテ、

時間ガ非常ニ短イ所デ餘リ一人デヤッテシ

マフノモ恐縮デゴザイマスカラ、一ツノ

モ一般ノ從來ノ觀念ノ警察、犯罪ノ防止

ノ他ノコト以外ニ所謂經濟警察、各種ノ消

費規正、配給ノ統制其ノ他ノ經濟上ノ問題

モ出テ參リマス、而モ是ガ新ラシイ仕事デ

アリマスノデ、其ノ本當ノ趣旨ヲ了解スル

ノニハナカノ骨ガ折レル之ヲ又新ラシク

サウ云フ統制ヲ受ケル人民ニ實行セシメ</

ヨット豫備金ノ説明ニ數分間席ヲ御外シニ
ナリマスカラ、企畫院總裁ニ對シテ御質問
ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ企畫院總裁
ニ伺ヒマス、是ハ速記ヲ止メテ戴キマセウ
○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ止メ
テ……

(速記中止)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ始メ
テ……企畫院總裁ニ對シテ何カ御質問ハア
リマセヌカ、若シ別ニ御質問ガナケレバ、内
務次官ガ御見ニナッテ居リマスカラ、内務次
官ニ御質問ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ内務次官ニ
質問致シタインデスガ、其ノ前ニ大藏當局
ニ伺ヒマスガ、此ノ稅ノ徵收トカ云フヤウ
ナコトニ付テハ、大政翼賛會ト云フモノハ
全然御使ニナラナイト云フノデセウカ、ソ
レトモドウデゴザイマセウカ、是ハ實
ハ大藏大臣ニ伺ハナケレバナラナインデス
ガ、大臣ガイラシヤラナインデ大藏當局
デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(松隈秀雄君) 租稅ノ直接徵稅
事務ニ付キマシテハ、大政翼賛會ヲ煩ハス
ト云フコトヲ致シテ居リマセヌケレドモ、
納稅思想ノ鼓吹等ノ爲ニ、納稅報國週間ト
云フヤウナ催テ致シマスル際ニ於キマシテ
ハ、何ト申シマシテモ國民運動デアリマスル
ノデ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ大政翼
贊會トモ連絡致シマシテ、翼贊會ノ支援ニ依ツ
テ實行政シテ居ルヤウナ次第デアリマス
○子爵大河内輝耕君 其ノ點ハ誠ニ結構ダ
ト思ヒマスガ、何ノ某ハ稅ヲ納メナイカラ
モット納メルガ宜イトカ、或ハ何ノ某ノ稅ノ
賦課ノ仕方ハ少イカラモット多クシロトカ、
テ……

或ハ多イカラモット少クシロト云フヤウナ
コトニハ翼贊會トシテハ御關係ガナイト考
ヘテ宜シイノデスカ、ソレトモソコ等迄行
クモノデスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 只今御述ニナリ
マシタヤウナ個々ノ人ノ所得ノ決定狀況ニ
付キマシテ多イカ少イカ、或ハ個々ノ人ノ
納稅ガ期限通り納ヅタカ、或ハ滯納ニナッテ
居ルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ別
ニ大政翼賛會ヲ煩ハスト云フヤウナコトハ致
シテ居リマセヌ、又將來ノ問題ト致シマシ
テモ、個人ノ所得ノ内容乃至ハ其ノ具體的
納稅ノコトニ迄立入ルノハ少シ行キ過ギデ
ハナイカト思テ居リマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ能ク分リマシ
タ、尙一點大藏當局ニ伺ヒマスガ、所得稅
調査委員トカ色々ノ方ノ調査委員ノ選舉ニ
付キマシテハ、選舉ト云ツテモ色々アリマス
ガ、誰ヲ推薦スルトカト云フヤウナコトニ付
キマシテハ、大政翼賛會ガ銓衡スルトカ、或
ハ推薦ヲスルトカト云フヤウナコトハ、ソ
レモナイモノト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 租稅關係ノ委員
ノ選舉ニ付キマシテハ、大體一般ノ公ノ選
舉ノ例ニ倣ツテ居ル次第ゴザイマシテ、法
規カラ申シマスルト云フト、衆議院議員ノ
選舉法等ト較ベマスト云フト、不完全ナ點
ハ多少弱點ガナイノデヤナインデ、斯ウヤ
ルド、届伸力ガ無クナルト云フコトハ實ハ
一言モナイ、無クナルノデヤナイン、弱クナ
ル、矢張リ戸數割ノヤウナモノヲ置イテ置
ケバ、矢張リ届伸力ガアッテ宜クハナイカト
云フ御説ニ對シテハ、實ハ確カニ左様ゴ
ザイマスト云フヨリ仕方ガナイン、一方カラ
戸數割ノ弊ヲ見ルト、非常ナ弊ナノデス、
仕方ガナイカラ、デハ届伸力ヲ犠牲ニシテ
テ來マシテ、幸ニシテ斯ウ云フ制度ガ立ツテ、
人ニ對シテ殆ド村ノ半分以上ノ此ノ負擔ヲ
ニ居リマスル者ガ負擔ガ甚ダシクナリ、寧
ロ斯ウ云フヤウナコトカラ隨分其ノ戸數割
ノ關係カラシテ不在地主ガ出來ル、特別ノ
人ニ對シテ殆ド村ノ半分以上ノ此ノ負擔ヲ
掛ケルト言ツタヤウナ事例ガ起ツタリナン
カ致シマシテ、有爲ノ人物ガ農村ニナクナッ
テ來ル、又相當ノ資力ノアル者ガ農村カラ
去ツテシマフト云フヤウナコトヲ屢々言ハ

(速記中止)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ始メ
テ……

○子爵大河内輝耕君 所得稅ノ調査委員ノ
コトニ付キマシテ、個々ノ人ノ選舉ノ候補
者ノ推薦ヲスルトカ、或ハ銓衡ヲスルトカ
云フコトハ、大政翼賛會ハ關係ナイト、
斯ウ云フ風ニ今御話ダツタノデスガ、衆議院
ノ方ノコトニ付キマシテモ、是ガ跋ヲ引ク
ト云フコトニナルト、自然片方ニ影響ヲ及
シテ來ルト云フ虞ガアリマスガ、矢張リ同
様大政翼賛會ガ候補者ヲ銓衡サレタリ、推薦
サレタリスルコトハナイト、斯ウ云フコト
ニナリマスカ

○政府委員(湯澤三千男君) 御話ノ通リデ
アリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ次ノ質問ニ
移リマスガ、此ノ間地方稅ノコトニ付キマ
シテ、實ハ私ハ政府委員ノ説明ヲ聽イテ、ヒ
ヤツトサセラレタ、ドウ云フコトカト云フ
ト、地方稅ヲア、云フ風ニ致シマスコトハ、
私ノ年來ノ主張デアッタ、處ガ私ノ主張ハ實
ハ多少弱點ガナイノデヤナインデ、斯ウヤ
ルド、届伸力ガ無クナルト云フコトハ實ハ
一言モナイ、無クナルノデヤナイン、弱クナ
ル、矢張リ戸數割ノヤウナモノヲ置イテ置
ケバ、矢張リ届伸力ガアッテ宜クハナイカト
云フ御説ニ對シテハ、實ハ確カニ左様ゴ
ザイマスト云フヨリ仕方ガナイン、一方カラ
戸數割ノ弊ヲ見ルト、非常ナ弊ナノデス、
仕方ガナイカラ、デハ届伸力ヲ犠牲ニシテ
テ來マシテ、幸ニシテ斯ウ云フ制度ガ立ツテ、
人ニ對シテ殆ド村ノ半分以上ノ此ノ負擔ヲ
ニ居リマスル者ガ負擔ガ甚ダシクナリ、寧
ロ斯ウ云フヤウナコトカラ隨分其ノ戸數割
ノ關係カラシテ不在地主ガ出來ル、特別ノ
人ニ對シテ殆ド村ノ半分以上ノ此ノ負擔ヲ
掛ケルト言ツタヤウナ事例ガ起ツタリナン
カ致シマシテ、有爲ノ人物ガ農村ニナクナッ
テ來ル、又相當ノ資力ノアル者ガ農村カラ
去ツテシマフト云フヤウナコトヲ屢々言ハ

ナイト云フコトヲ聽カサレテ、其處へ來タ
カナト思ツテ、實ハ非常ニ心配シマシタ、
折角良イ制度ヲ逆轉サセルヤウデハ困リマ
スシ、サウカト言ツテ届伸力ガ無クチヤ、
是モ非常ニ困ルト思ヒマス、其ノ點ハドウ
云フ風ニ御覽デセウカ、成ルタケ此ノ現制
度ヲ維持シツ、戸數割ノヤウニメチャノ
ニ陷ラナイ範圍ニ於キマシテ、ドウゾ届伸
力ガアル。ヤウニ、少シモシテ戴キタイト
思ヒマスガ、其ノ邊ハドウ云フ御考デセウ
カ

レマシタノデアリマシテ、サウ云フ點カラ
見ルト云フト此ノ屈伸力ノアリ過ギルト云
コトハ非常ナツノ弊害デアルコトハ、
大河内サンノ夙ニ御認識ノ所デアリマス
ガ、ソコデソレドウ云フ風ニ、一面ニ於
テハサウ云フ弊害ヲ直シナガラ又同時ニ地
方ノ此ノ財政上ノ需要ニ應ジサセルカト、
斯ウ云フ點ガ一ツノ問題トシテドウス
カト云フ御話ノ點ト思フノデアリマス、此
ノ點ニナッテ來マスト云フト、今度ノ此ノ
稅制ノ改革ト云フモノハ、根本的ニ地方ノ
財源トシテ物ニ課稅スル、此ノモノカラ生
ズル所ノ力、是ハ成ルベク地方ニ與ヘル
人ノ持ツテ居ル所謂人頭稅式ノ、所謂人
ノ能力ト云フヤウナ方面カラ來ルモノハ國
ト地方ト兩方ニ分ケル、斯ウ云フヤウナ
コトデ一面ニハ確乎タル財源ヲ地方ニ保有
シナガラ、併シソレハ或意味ニ於テハ擔稅
伸縮力ガ少イカモ知レナイ、其ノ伸縮
力ノ點ハ此ノ自然増加ト云フコトヲ除イ
テハ矢張り人ノ持ツテ居ル力、所得稅ト云フ
ヤウナモノ、或ハ營業稅ト云フヤウナモノ、
斯ウ云フヤウナモノニ對スル課稅ヲ國ガ地
方ノ狀況ヲ見テ、相當ニ分ケテヤルコトハ、
斯ウ云フ見地カラ見テ行クト云フヨリ外ニ
致シ方ガナインデアリマシテ、其ノ意味ニ
於テ分與稅ナドニ付キマシテモ、割リ方地方
ノ情勢ニ依ツテ多少變ヘテ行ク、斯ウ云フコ
トガ今ノ屈伸力ヲ考ヘテ行ツテヤル一ツノ
方法デハナイカト思フノデアリマス、併シ
左様ナヤリ方ハ個々ノ村々ニ付キマシ
テ非常ニ需要モ起リマシタ時ニ、ソレヲ直
グ充タシテヤルト斯ウ云フ譯ニハ參リマセ
ヌノデ、全國的ニ此ノ農村、或ハ地方ノ力
が足ラナクナツタ場合ニ、國ハソレヲドウ云

フ風ニ考ヘテヤルカ、斯ウ云フヤウナ問題デアラウト思フノデアリマス、即チ此ノ全
國的ニ地方ノ此ノ屈伸力ヲ見テヤル、斯ウ
町等ニ付キマシテノ財政上ノ需要ガ非常ニ
起ツタ場合、其ノ需要ヲ充タス屈伸力モドウ
シテヤルカ、斯ウ云フ問題ニナツテ參リマス
ト、其處ニ相當困難ナコトが起ツテ來ヨウト
思ヒマスガ、自然ソレダケ其處ニ一ツノ先
程申上げマシタヤウナ戸數割ノ生ズルヤウ
ナ、非常ナ特定ノ人ニ對シテ過重ナ負擔ガ
生ズルト云フヤウナ弊害ハ一面ナクナル、
斯ウ云フコトガ言ヘルノデヤナカラウカト
ニ於テハ特別ノサウ云フ風ナ場合ノ屈伸力
トノ調和ヲ何處デ考ヘテヤッタラ宜イカ、斯
見マスト云フト、個人ノ非常ナ過重ヲ生ズル
ヤウナ負擔ヲ制限スルト云フ必要ト、一面
思フノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘテ
方トノ全面的ナ財政上ノ關係、又税金力ノ
關係カラ考ヘテ行ク外ニ是ハ途ガナイ、又
デアリマス、是ハ全體トシテ矢張リ國ト地
方トノ全面的ナ財政上ノ關係、又税金力ノ
ウ云フ問題ニマアナツテ來ルヤウニ思フノ
是ガ適正ノ方法デハアルマイカ、斯ウ云フ
ヤウナ風ニ今考ヘテ居ル譯デアリマス
○予爵大河内輝耕君　此ノ問題モ具體的ニ
言ヒ出シマスルト、ナカ／＼時間ヲ要シマ
スシ、是ハ直接此ノ問題ニハナツテ居ルノ
デスケレドモ、先ヅ是ハ今日ノ場合、内務
當局ノ御意見ハ能ク分リマシタデスカラ、
ドウカサウ云フ方法ヲ以テ地方ノ希望ニモ
應ゼラレルヤウニ、又税金モ亂レナイヤウ
ニ、甚ダ無理ナ御注文デスガ、ソコヲ一ツ
ウマク調和シテヤツテ戴キタイト思ヒマス、
ソレヲ希望シテ置キマス、私ノ内務次官ニ

○平塚廣義君 チヨット伺ッテ置キタイト思ヒ
マス、只今大河内子爵カラ御質問ガアリマ
シタガ、私モ今ノ御質問ノ點ニ付キマシテ
ハ平常考ヘテ居ル點デアリマスカラ、極ク
簡単ナコトゾーツ御伺ヒ致シタイト思ヒマ
ス、今度所謂中間機關ガ設ケラル、コトニ
相成ツタ承知致シテ居リマスルガ、其ノ
經費ハ國庫カラ人件費等ヲ御出ニナルダラ
ウト思ヒマスガ、ソレト同時ニ地方費モ相
當要ルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、
前ニ郡役所廢止ノ際ニ於キマシテモ、ソレ
等ノ負擔ノ點ニ付テノ問題ガ根柢デアッタ
ト承知致シテ居ルノデアリマス、ソコデ地
方ノ負擔ガ増スカ増サナイカ、増スナラバ
ドノ位ノ御見込デアラウカ、サウシテ今回
ノ分興税ノ改正ニ付キマシテ、是等ノ點ヲ
御考慮ニナツタノデアルカドウカト云フヤ
ウナ點ヲ、一ツ御伺ヒ致シタイト思フノデ
アリマス、先づ第一ニソレダケ伺ヒマス
○政府委員(湯澤三千男君) 所謂中間機
關、現地實行機關ト稱シテ居リマスガ、今
度此ノ機關ニ必要ナル經費ハ、其ノ首腦者
ニナル者、又ソレヲ助ケル極ク少數ノ人ニ
對スル經費ヲ要求シテ居ル譯デアリマス
ガ、併シ大體私共ノ方デ計算ヲ致シテ居リ
マスルノハ、現在各郡々ノ農業其ノ他ニ付
テノ出張所ニ澤山ノ人達ガ出テ居ルノデア
リマス、サウ云フヤウナ者ヲ綜合致シマシ
テ、サウシテ一ツノ組織ノアル機關ニ
致シタイ、此ノ中間機關トシテ今度要求致
シマシタ經費ヲ全體ノ經費カラ見マスルト、
大體其ノ割内外ノ程度ニ相當スルダラウ
ト云フヤウナ見込ヲ持ツテ居ルノデアリマ
ス、詰リ現在府縣ノ出張員トシテ郡ニ駐在

致シテ居リマスル者、ソレカラ縣廳内ニ於テ地方ノ仕事ヲ執ツテ居リマスル者等ヲ茲ニ綜合致シマシテ、サウシテ此ノ首腦者ニ依ツテ統率サレルヤウナ組織ニ致シタイ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ人的經費ハ、現在アリマスルモノヲ綜合スルト云フコトニナリマスルゾデ、サウ澤山ノ經費ハ必要ヲ生ジナイト思ヒマス、唯事務所ハ矢張リ地方デ持ツテ貰ハナケレバナラスト云フヤウナコトニナリマスルカラ、事務費ニ付テノ經費ハ、或程度迄地方廳ノ負擔トシテ考ヘラレナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、大體今私ノ知ツテ居リマスル程度ハ、サウ大シタ金ガ地方廳ニ掛カルダラ、ウトハ考ヘテ居リマセヌガ、併シ地方局長ガ此處ニ居リマスカラ、其ノ詳シイ程度等ハ改メテ又申上ゲタイト思ヒマス、自然サウ云フ風ナ意味デ、分與稅ノ負擔ノ割合ヲ變ヘルト云フヤウナ點ニ付キマシテ、此ノ中間機關ノ爲ニ必要ナル經費ヲドウ見込ムカト云フヤウナ點迄考ヘル程ノ經費、サウ云フヤウナモノガ此ノ機關ノ爲ニ必要ニナルダラウトハ考ヘテ居ラナイ、斯ウ申上ゲテ宜シカラウカト思フノデアリマス○平塚廣義君 大體了解致シマシタガ、或ハ各府縣ニ於テ徵稅ニ關シテ出張所ノヤウナモノヲ設ケテ居リハシナインカト思フノデスガ、サウ致シマスト、今度ノ增稅等ノ國稅關係ニ於キマシテハ、矢張リ從來アリマシタソレ等ノ出張所ノ事務員ヲシテ之ニ當ラシメルト云フコトニナルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、詰リ國ノ事務ヲ是ノ事務員ニ分擔サセルカト云フ點デアリマス○政府委員(成田一郎君) 只今ノ御尋求或

ハ聞損ツタカモ存ジマセヌガ、今度出來マ
ス現地實行機關ニ、此ノ稅務ノ仕事ヲヤラ
セルカドウカト云フ御問デアリマセウガ、
大體私共ト致シマシテハ、斯様ナ仕事ハ、
ガ宜シカラウト考ヘテ行ク方
今度出來マス現地實行機關ニ纏メテ行ク方
○平塚廣義君 サウ致シマスト、地方ノ稅
務署トノ關係ハドウ云フ風ニナルノデアリ
マセウカ、ソレヲ伺ツテ置キマス
○政府委員(成田一郎君) 色々ノ點デ關係
ハアラウト思ヒマスガ、今度出來マス現地
實行機關デヤリマス稅ノ仕事ハ地方稅デア
リマシテ、國稅自體ヲ取扱フ譯デハゴザイ
マセヌノデ、直接ニ仕事ノ關係ハナイト思
ヒマスガ、間接ニハ色々其ノ間ニ關係ガ出
來ルコトト考ヘテ居リマス
○平塚廣義君 モウ一點伺ツテ置キタイト
思ヒマス、此ノ増稅ニ付テ政府ノ御方針ノ
アル所ハ色々大臣カラ御説明ヲ得テ了承致
シテ居ルノデアリマスガ、其ノ趣旨ヲ能ク
一般ノ國民ニ徹底セシメルト云フコトハ非
常ニ大切なコトデアラウト考ヘマス、是ハ
獨り稅ノ關係ノミデナク、國民ニ戰時ニ於
テノ覺悟ヲ徹底セシメル意味ニ於テ、非常
ニ必要ナコトト考ヘルノデアリマス、従ツテ
今ノ現地機關ニ於キマシテ、是等ノ思想ヲ
徹底セシメル上ニ於テノ役割ヲ相當分擔セ
シメテ、サウシテオヤリニナルト云フ内務
省ノ大體ノ御方針デアリマセウカ、或ハソ
レ等ノコトハ縣直接ニ指導ヲシテ、サウシ
テ唯事務的ニ地方ノ現地機關ヲ活動セシメ
ルト云フダケニ止ヌル御考デアリマセウカ、
他ノ方面カラ申上ゲマスト、從來ノ郡役所
ノヤウナ、郡長ゾヤウナ働キヲヤラセル
カ、或ハ唯事務ノコトダケヲヤラセルカ、

○政府委員(成田一郎君) 現地實行機關ニ
於キマシテハ、他ノ機會ニ申上ゲタコトモ
アルヤウニ存ジマスガ、大體時局下ニ於テ
最モ必要ナ仕事ヲ、縣廳ノ出先機關ト致シ
マシテ、知事ノ補助機關ト致シマシテ、仕
事ヲヤツテ行クト云フ大體ノ建前ニ致シテ
居ルノデアリマシテ、從ツテ増産ノ仕事デ
アルトカ、或ハ軍事保護、軍事援護ノ仕事
デアリマストカ、或ハ貯蓄獎勵ト云フヤウ
ナ仕事ヲ主トシテヤラセタイ考デアルノデ
アリマスガ、今御話ノアリマシタ納稅思想
ヲ普及スルト云フヤウナ精神運動ハ矢張リ
斯様ナ現地實行機關デヤラセルコトガ最モ
適當デアラウト考ヘテ居リマス、勿論納稅
ニ付キマシテハ國稅ト地方稅ト兩方デゴザ
イマスカラ、大藏當局ト十分ニ打合セラ致
シ協力ヲ致シマシテ、斯様ナ納稅思想ノ普
及徹底ト云フコトニ付テハ此ノ新ラシク出
來マス機關ヲ通ジテ十分ニヤツテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス

○平塚廣義君 只今政府委員ノ御説明デ能
ク分リマシタガ、就キマシテハ從來郡役所
ノゴザイマシタ當時ニ於テ色々非難ノアリ
マシタヤウナ點ニ付テハ十分今後御注意ノ
コトト考ヘル譯デアリマス、斯ウ云フ戰時
ノ際デアリマスルカラ、私ハ極ク統一ノ取
レタ、各地々ニ於テマチヽニナサルト
云フヤウナコトノナイヤウニ、國ノ御方針
ガ何處迄モ統一的ニ徹底シテ行クト云フ
ニ政府當局ニ於カレマシテモ御注意ナサル
コトデアラスト信ジマスルカラ其ノ點ヲ自
分ノ希望ト致シマシテ此ノ點ニ對シマスル
質問ハ之ニ打切ツテ置キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 他ニ内務ニ對スル御質問ガナケレバ、大藏大臣ガ見エラレマシタカラ其ノ方ヲ願ヒタイト考ヘマス、別ニ内務ニ對シテ外ニ御質問ガゴザイマセヌカ、ソレデハ大藏大臣ニ御質問ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 犬ヅテ置キマスガ、大臣ハ一時頃迄立シイノデスカ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 一時過迄食事ヲ挾ンデ御差支ガナイサウデアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ少シ話ハゴタ／＼致シマスガ、一括シテ皆問題ヲ述べシマヒマス、私ノ伺ヒタイノハ第一ニ相續税、是ハ度々申上ゲル通り、日本ノ相續税ト云フモノハアレハ國情ニ合ハズモノダト私ハ思ツテ居ル、一體日本デハ家ト云フモノガ基ナシニデ個人ガ基デハナイ、財産權ノ主體ハ法律ハ成ル程個人ガ基ニナツテ居リマスガ、實際ハ家ナンデス、ソレデ家ノ相續ト云フモノハ家ノ管理者ガ變ルト云フダケノコトナシニ、新ラシイ管理者カラ見レバ有難イモノデモ何デモナイ、昨日モ伺ヒタシデスガ、或家デ主人ガ亡クナツタ、非常ニ皆歎イテ居ル所ヘ以ツテ來テ稅務官吏ガ乗リ込ンデ來テ、オ前ノ所ハ財産ヲ隠匿シチヤイカヌゾト云ツタノデ、非常ニソコノ家デハ憤慨シテ居ル、日本ノ制度カラ云ヘバ、斯リ前ノコトデ、外國ノ制度カラ云ヘバ、斯リ込ンデ來テ、オ前ノ所ハ財産ヲ隠匿シチヤイカヌゾト云ツテハ外國人ハ怒ルカモ知レマセヌガ、親父ガ死ンデ俺ハ金持ニナツタト云ツテ喜ブカモ知レマセヌガ日本ハ丸デ性質ガ違フ、怒ルノハ無理ガナイ、サウ云フ

ザイマシテ、賀屋大藏大臣ニハ伺ハナイガ、外ノ大臣ニハ伺ッタコトモアル、何カサウ云フヤウナコトデナイト攝家、公家ノヤウナ名門デモ丸デ五千圓程度迄叩カレルコトハ目ニ見エテ居ル、餘リ面白イコトデヤナイ、或程度迄ノ財産ハ家ニ遺シテ置クト云フコトハ將來民族發展ノ上カラ云々テモ必要デアラウト思ヒマス、其ノ點ガ一點、ソレカラ次ニ昨日稅ノ最高納付ノコトヲ伺ッタノデアリマスガ、最高納付者ハ八十四「ハ一セント」取ラレテ居ルト云フコトデアリマス、斯ウナルトナカノ税ヲ納メルコトハ容易デナイ、斯ウ云フ場合ニハ矢張り相續稅ヲ物納デ拂ヒマスヤウニ、所得稅モ何力官ノ方デ物納トカ、或ハモウ少シ樂ニ不動產ヲ換價シテヤリ、政府ガ買ッテモ宜イトヤツテモ宜イド思フ、何モアンナ大キナ家ニ幾ラ富豪デモ住ンデ居タクナイト思ヒマスカラ、サウ云フ方法モ宜カラウト思ヒマス、何カソンナ方法ニ付テ御考ハナイダラウカト云フコトガ第二點、ソレカラ斯ウ云フ風ニ中小商工業ガ破滅シテ來ル、將來ハソレハドウカナルニシテモ今ハ好ムト好マザルトニ拘ラズ滅失シテ來ルト云フコトニナリマスカラ、營業收益稅ハ多少考ヘテ見ル必要ガアルマイカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ一ツハ寄附ノコトデスガ、寄附ヲ損金ト見ルカ、見ナイカト云フコトハ大變面倒ニナツテ來ル、段々我々ノ意見モ行ハレツ、アルコトハ認メテ居リマスケレドモ、一概ニ行ハレルコトヲ認メテ居ル譯デハアリマセヌガ、先づ實際山ノ寄附ト云フモノハ稅トチツモ違ハナイノデス、殊ニ斯ウ云フ風ニ

ナリマシテ町會カラデモ言ツテ來ルト、寄附ヲシナケレバ食料ノ配給切符迄止メラレテシマフ勢ビデスカラ、ソレハ否應ナシニ出サナケレバナラヌ、斯ウ云フモノハ矢張リ何カ寄附ニ付キマシテ是ハ内務當局ハ居ラヘナイカモ知レマセヌガ、大藏當局カラデモ宜イノデスガ、寄附ニ付キマシテハ相當政府ノ認可ヲ得ルト云フコトニ付テ其ノ範圍程度ニ付テ認可ヲ得テ、其ノ認可ヲ得タモノハ、是ハ損金ト見ルト云フヤウナコトデモ御ヤリニナツタラドウデスカ、何シロ之ヲ公課ノ範圍外ニ置ク、實質上ニ於テ公課ノ範圍外ニ考ヘルト云フコトハ今ノ時代誤ッタ見方デアル、是ハ強制納稅ト事實違ハナイノデスカラ、其ノ點ハ如何デスカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一つハ償却ノコトデアリマス、是ハ個人ノ問題ニ付テモ、法人ノ問題ニ付テモ起ラウト思ヒマスガ、殊ニ法人ニナルト最モ著シイ、此ノ償却ノ範圍モ段々擴ガラレルコトハ誠ニ我々好マシイコトデアリマス、實ハ法人稅ニ付テハ私共ハ少シ心配シテ居ル者デ、ドウモ生産擴充ヲ害シヤシナイカト云フコトヲ始終考ヘテ、角ヲ矯メテ牛半殺スヤウナ結果ニナリヤシナイカト恐レテ居ルノデス、又一部ノ權威者ノ方カラ伺フト、法人稅ハモット高クテモ宜イデヤナイカト云フ御説モアルヤウニ併シ償却ト云フコトハモウ少し思ヒ切ッテ同ツテ大イニ人意ヲ強ウシテ居ルノデアリマス、私共矢張リ淺學デアリ、經驗ノナイ者カラ見ルト、何ダカ恐ハクテ堪ラナイ、ケレドモ、モット思ヒ切ッテ拂込資本金總額位迄ハ償却シテモソレハ宜ノダ、稅ノ方

デハ構ハナイト云フヤウナ工合ナ所迄イカ
ナイモノデセウカ此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ、
ソレカラ尙飲食税、娛樂税ト云フノガアリ
マスガ、飲食税ハ別デスガ、娛樂ノ爲ニ入
ル入場税、是ハ娛樂ヲ獎勵スル立場カラ云
ヘバ大イニ改正スル餘地ガアルト思フノゲ
ス、物ヲ使ツテヤルヤウナ娛樂ナラバ、ソレ
使ハナイ娛樂、殊ハ健全娛樂デアレバ多少
考ヘテ見ル餘地ハアルマイカ、餘リ惡平等
デナイカト思ハレル點ガアル、飲食税ニ付
テモ地位相當ノ人ガ地位相當ノコトヲスル
ノナラバ、何モ稅ヲ掛ケテ迄之ヲ止メル必
要ハナイダラウ、當リ前ニシテ置イテ宜ク
ハナイカ、彈力性ガアルカラ、ソレハ又外
ノ稅ノ仕方ガアルノデ、飲食税デ掛ケヌデ
モ宜シイ譯デアル、是ハ一ツ贅澤ト見ルベキ
モノデナイ、或人ニ付テハ同ジ五圓ノ飯ヲ
食ツテモ贅澤デセウケレドモ、或人ニ取ツテ
ハチットモ贅澤デナイ、是等モ多少御考ニ
ナツテ見ル必要ガナイカ、最後ニ物品稅デス
ガ、物品稅モ一ツ考ヘテ戴キタイノデ、斯ウ
平等ニ掛ケラレルト云フコトハ、甚ダ國民
經濟上惡イ結果ヲ生ズルト思フノデス、一
番國民ニ金ヲ使ハセレバ宜イノダ、サウ云
フノナラ今ノヤリ方デ宜イ、是デ宜イ、併
シサウデヤナイノデ、成ルタケ消費節約ヲ
サセルト云フコトナラバ、多少考ヘテ見ル
必要ガアル、何故カト云フト、持チノ良イ
物ヲ買フト云フコトガ一番國民ノ消費ノ節
約ニナル、同ジ洋服ヲ作ツテモ、シッカリシ
タ洋服ヲ作ルト一生涯着ラレル、處ガ「ス
リヂヤナイ、總テノ物ガサウナンデス、靴

デモ何デモサウナンデス、是ハ矢張リ物品
税ノ掛ケ方ニ付テ、考慮ヲ要スル一點モ
ナイカト思フ、ソレデ規格ヲ御決ニナツテ
モ何デモ宜ウゴザイマスカラ、ドンナ方法
デモ宜イカラ、相當ニ方法ヲ決メテヤラナ
ケレバ、此ノ儘デハイケマスマイ、幾ラ堅
實ナ物デモ澤山買ッタラ、ソレハ不經濟ニ
ルコトハ分リ切ッテ居ル、サウ云フ風ニナラ
ヌヤウナ方法ヲ御執ニナルコトハ必要デセ
ウケレドモ、兎ニ角持チノ良イ物ニ對シテ
ハ、之ヲ買フコトヲ寧ロ獎勵スルト云フヤ
ウニナサル方ガ宜イト思フ、今日ノヤウニ
買フ物ガ直グニボロ／＼ニナツテシマフヤ
ウデハ、實ニ不經濟デス、決シテ消費節約
ドコロノ騒ギヂヤナインデ、因リ切ッテ居ル
ノデス、消費節約ガ假ニ宜イトスレバ困リ
切ッテ居ル、サウ云フ點モ御考ニナツテ戴キ
タイ、マア私ノ伺フノハソレダケデスガ、
一應御答ヲ伺ヒマシテ、尙必要ガゴザイマ
シタラ御尋ネ致シマス

ニ置イタラドウカト云フ御話モアリマシ
タ、是モ其ノ觀念ガ宜イト致シマシテモ、決
メルノニ非常ニ困難ヲ感ズルノデハナイカ
ト思フノデアリマス、總テノ人ニ同一額ヲ
決メルト云フコトニ致シマスルト、何萬圓
以下ハ一切稅ガ掛カラヌ、又人ニ依ッテ考
ヘ方ガ違ヒマセウガ、總テノ人ニ同一額ノ
家產ヲ認メル、是デモナカヽ考ヘ方ニ落
著カナイ所モアリマセウシ、然ラバ人ニ
依ッテ之ヲ異ニスルト致シマスルト、ドウ云
フ風ニ致シテ宜イカ、是モナカヽムヅカ
シイ問題ガアルト思ヒマス、只今ノ所デハ
是ハドウモ困難デハナイカト存ジテ居リマ
ス、次ニ所得ノ非常ニ多額ナモノニ付キマ
シテハ、最高ノ納付率ハ非常ニ高イ、之ニ
付キマシテ、例ヘバ納付ニ付テハ物納ヲ認
メタラト云フヤウナ御話モアリマシタ、所
得稅ニ付キマシテハ、元來私ハ經濟上ノ觀
點カラ申シマスルト、所得ガアッテ初メテ役
ニ立ツ、擔稅力ガ役ニ立ツト云フノハ、國
家ノ生產の意味ニ於テ値打ノアル擔稅力ガ
アル、現在ノ資產ト云フモノヲ買込ンデ取
ルト云フコトハ、經濟的ニ申上ゲレバ、「スタ
ラップ」ニシテ宜イモノフ「スクラップ」ニスル
以外ニハ國家全體デ何モノモ考慮ノ餘地ガ
ナイノデアリマス、唯國民相互間ノ負擔ノ
公平ト云フ觀點カラノコトデアル、ドウモ
色々ナ事由モアリマスルガ、從來資產其ノ
モノニハ、餘り重課スルト云フ觀念ハ大體
持ツテ居リマセヌ、鬼ニ角サウ云フ風ニ所得
ガ無イ所ニ課稅ヲ致シマスノデアリマスル
カラ、資產ハ皆現金デ持ツテ居ル譯デモア
リマセヌシ、換價容易ナル有價證券デ持ツテ
居ル譯デモアリマセヌ、家屋敷、或ハ不動
産ヲ賣拂ツテ納メナケレバナラヌト云フ事

アリマスルカラ、物納ノ制度ヲ特殊ニ認メ
マシタ、是ハ御承知ノヤウニナカヽ物納
ヲ受ケマシテ換價スルト云フコトモ、政府
ニ色々ナ點カラ手數等モアリマシテ、容易
ニ決ラナカツタノデアリマスルガ、近來マア
斯ウ決リマシタ譯デアリマス、所得稅ヲ所
得ニ掛ケマスルコトニ致シマスレバ、ソコ
ニ收入ガアリマスノデアリマスルカラ、此ノ
方ハ物納ノ必要ハナイカト存ズルノデアリ
マス、八十何「パーセント」ノ稅ヲ納メルノ
ハ極メテ多イヤウデアリマスルガ、サウ云
フ人々ハ又極メテ多額ナ所得ガアリマスノ
デ、八十何「パーセント」納メテモ、何萬圓、
何十萬圓ト残リノ所得ガアル人ナノデアリ
マスカラ、是ハ物納ノ必要ハナイカト存
ジテ居リマス、次ニ中小商業ノ所謂整理
再編成ト云フヤウナコトニ關シマシテ、營
業収益稅ノ御話ガアリマシタ、是ハ私共モ
其ノ觀念ニ於キマシテハ相當考ヘナケレバ
ナラヌカトモ思ツテ居リマス、今ノ再編成
ハ中小工業ヲ何モ皆潰シテシマヘ、等ト云
フ風ナ簡單ナ亂暴ナ考デハアリマセヌノ
タリ、原料關係ガ變ツテ參リマシタリ、其ノ
配給機關トシテハ多過ギルト云フ觀點モア
リマスルシ、又貿易關係ガ變ツテ參リマシ
ムヲ得ザル部面ヲ再編成ヲシテ參ルト云フ
考ヘ方ナノデアリマス、之ガ再編成ガ落著
外已ムヲ得ザル點カラ出發致シマシテ、已
イテ參リマスト、ソコニ制度ノ關係モ新タ
ナ觀點カラ考ヘラレルカト思フノデアリマ

中小商業ナラ商業ト云フモノガ存在シマス
場合ニハ、是ノ擔稅力トシテハ矢張リ補完
稅ヲ考ヘル、單純ナ勤勞所得ト違ツタ行キ
方ヲスルト云フコトノ必要モアラウカト思
ヒマス、併シは又一方所得稅ノ發達トモ
關係ヲ致ス譯デアリマス、相當將來ニ付テ
ハ研究問題ガ殘ツテ居リマシテ、營業收
益稅ヲ撤廢シテシマフカト云フ、結論ニ
ハ、無論マダ參リマセヌ、將來ニ問題ハ殘
ルト恩ヒマス、今回ノ增稅ニ當リマシテ
モ、所得稅ノ方モ增稅致シマス、營業收益稅
ニ付キマシテハ實ハ手ヲ觸レマセヌノモ、
幾ラカ今御質問ノアリマシタ中ノ、御言葉
ノヤウナ略似通ツテ居ル氣持ノ入ツテ居ル
點モアルカト存ジマス、ソレカラ次ニ寄附
マシタ時ニ、大體ノ考へ方ヲ申上げテ置キ
デゴザイマスルガ、是ハ法人ノ寄附ニ付キ
マシテハ、先般關屋委員ヨリ御質問ガアリ
マシタ時ニ、大體ノ考へ方ヲ申上げテ置キ
マシタノデアリマス、寄附サレル人カラ見
マスト、一種ノ義務デアリマス、又全體ノ
觀點カラ申シマスルト、サウ云フ國家的公
益のノコトガ任意ニ行ハレマシテ、假ニ之
ヲ全部經費ト云フ中カラ出ス、サウシテ免
稅スルト云フ點カラ參リマスト、一方稅金
ガ任意ニ減ツテ參ルト云フコトニナル、殊ニ
ノ點カラ、兎ニ角寄附ト云フノハ全部否定
軍事費財源ナルモノガ外ノ財源ニナルト云
フヤウナコトニナルノデアリマス、ソコラ
合ガ惡イ、其ノニベニ付キマシテ單純ニ行
政上ノ所謂手心ト申シマスカ、ソレデ參ル
コトモ如何カト思ハレマスノデ、經費トシ

第一ノ法人税ハ之ヲ免除シ得ルガ、其ノ免除ニ付テハ一定ノ委員會……是ハ單ニ徵稅官吏ノミナラズ、外ノ公共的事業ト云フモニ關係ノ深イ行政ノ方面ノ人モ入レマシテ、其處ニ於テ決定シテ行キタイ、斯ウ云フ考方ニ致シタ次第デアリマス、次ニ償却ヲ短縮シテ參リマシタ、殊ニ只今ノ如ク非常ニ國家緊要ナル産業デハアリマスルガ、ソレガ果シテ永ク收益ガ繼續シ得ルヤ否ヤ、又収益ノ程度ガ變ラズニ行キマスナ否ヤト云フコトニ付キマシテ、相富先ガハッキリ致サナイモノガアリマス、サウ云フモノニ付キマシテ特殊ノ急速ナル償却ト云フコトニ付テ考ヘル必要ガアリ、又其ノ觀點ヲ離レマシテモ、各種ノ技術ガ日進月歩ノ世ノ中デアリマスカラ、設備其ノモノトシマシテハマダ十分ニ効キ得ルヤウデモ、是ガ舊式設備トナリ、能率ノ惡イモノトナルト云フヤウナ事態ガ多クアルノデアリマス、ソレデ今回是ハ法律デ定メル必要ハナイノデアリマスガ、稅ノ實行ニ當リマシテ、償却ト云フコトニ相當ノ改定ヲ加ヘテ參リタイ、但シ今申シマシタヤウニ事業ノ性質等ニ依ルノデアリマスカラ、ドウモ一律ニ皆認ムルト云フ譯ニハ參リマセヌノデ事業ノ性質ニ應ジテ適當ニ償却率ヲ定メテ參リタイト思フノデアリマス、法人ノ課稅ニ付キマシテモ、只今ノ處法人モ相當ナ負擔ヲ致スト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスガ、併シ一方國家ノ爲必要ナル産業設備ノ増加、擴張、又國債ノ消化等ガ極メテ必要デアリマスル

カラ、法人留保所得ニ對スル輕減ニ付キマシテ、元ハ所得金額ノ三割ヲ超ユル留保所得ヲ以テ右申シマシタヤウナ目的ニ使ッタ場合ニ若干ノ減税ヲ致シテ居リマシタガ、今回ハ所得金ノ一割以上ノ場合ニモ尙認メル、而モ税率ヲ殆ンド從來ノ二倍強ニ致シタヤウナ方針ヲ執ツテ居リマス、一面負擔ヲ見ナガラ、一面必要ナル施設ノ擴張等ニ付テハ相當ニ意ヲ用ヒマシタヤウナ考ヘ方デゴザイマス、次ニ入場税ノ御話デアリマシタガ、是モ御話ノ如ク入場税ノ場合ハ、入場者個人トシテハソコニ物資ノ消費ハナイノデアリマスガ、併シモノニ依リマシテハ入場ヲ求メルモノ、詰リ演劇其ノ他ニ付キマシテハ、是ハ又全然物資ノ消耗ガナイトモ申サレマセヌシ、又時局下ニ於キマシテ健全ナル娛樂ハ排斥スル意味デハアリマセスガ、娛樂等ニ相當金ヲ使ヒ得ルト云フコトハ、其ノ人ノ資力ニ餘裕ガアルト云フコトヲ示シテ居ル譯デアリマスカラ此ノ方面ニ於キマシテ、相當ナ擔税ハムヲ得ナイト存ジマス、而モ極メテ切詰メタ生活ヲスル人ガ、豫算生활デ一箇月ニ一回トカ多クテ二回トカ料金ノ安イ活動寫真ニ入リマスヤウナ、サウ云フ程度ノモノニハ極メテ低率デアリマスガ、五圓トカ八圓トカ拂ヅテ高級ナ演藝場其ノ他ニ入リマス場合ニハ、是ハ相當ニ擔税力アリト考ヘテ宜イト思ヒマシテ、最高ハ八割位ハ課税ガアリマセヌ、田舎ナドニ於キマシテハ一圓五十錢モ是ハ必要ナ最小限度トハ無論言ヘナイ程度デアリマス、ソレシテハ課税ガアリマセヌ、田舎ナドニ於キマシテハ一圓五十錢モ是ハ必要ナ最小限度トハ無論言ヘナイ程度デアリマス、ソレヲ絶対ニ止メル譯ニハ參リマセヌガ、其ノ

場合ニハ擔稅力アリト考ヘテ宜シイノデハ
ナイカト思ヒマス、又御話ノ如ク人々ノ社
會的地位ニ依リマシテ違フ譯デアリマス、
ソレハ認メナケレバナラスト思ヒマスガ、
併シ飲食稅ノ徵收等ニ當リマシテ社會的地位
位ヲ區別シテ徵收スルト云フコトモ事實是
ハ不可能ナコトデアリマス、各飲食場等ニ
於テ稅務官吏ガ參テ居リマス譯ニハ參リ
マセヌノデ、實際上徵稅上オ客ノ如何ヲ區
別シテ徵收スルト云フコトモ亦出來ニクイ
コトデアリマス、又相當ナ社會的地位ノ人
ハ同時ニ又相當擔稅力アリト申シテモ宜イ
譯ナノデアリマスカラ、現在ノ如キ課稅モ
已ムヲ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、
次ニ物品稅ト消費節約ノ關係デアリマスガ、
是ハ大體ニ於テ奢侈品ニ高率ヲ課シ、必需品
ニ近イモノ程稅率ヲ低クシテヤル、斯ウ
云フ考ヘ方デアルコトハ御承知ノ通リデア
リマス、何ガ奢侈品デアリ、何ガ必需品デ
アルカト云フコトハ、ドウモ是ハ絶對ノ區
分ト云フコトハ困難デアリマスガ、先ヅ常
識上奢侈的色彩ノ非常ニ濃厚ナモノト稀薄
ナモノトハ凡ソ區分モ付キマスノデ、右様
ニシテアルノデアリマス、今ノ御說ノ點ハ
唯サウ云フ風ニ値段ノ高イモノ、低イモノト
云フコトデナク、保チノ好イモノヲ獎勵シ
ロト云フ御說デアリマシテ、極メテ是ハ御
尤ト存ジマス、唯近頃純綿或ベ純毛ノモノ、
マセヌシ、原棉ノ輸入モ殆ド無イ譯デアリマ
ス、「スフ」入リノヤウナモノハ何モ是ハ好
イト云ツテ獎勵スルニ非ズシテ、已ムヲ得ズ
サウ云フコトニナル譯デアリマス、保チノ

好イト云フモノヲ獎勵スペキコトハ御說ノ
通リデアリマシテ、サウ致シタイノデアリ
マスガ、一面サウ云フ事情デ是モ亦ヤレマ
セヌ、特ニ今ハサウ云フ資材、物資ノ輸入
ガ少イ譯デアリマスカラ、ドウモ純綿、純
毛ノモノヲ獎勵スル譯ニモ參リマセヌ、純
綿ナドハ勞働者其ノ他所謂特殊ノ方面ニ特
殊配給品ヲ認メルト云フ行キ方シカドウモ
只今ノ所ハ已ムヲ得ナイ次第デアリマス、

論ノコト、輕工業ト雖モ非常ニ用ヲ爲スダクコトハ非常ニ必要ナンデ、今ノ御話ノ通り綿布モ羅紗モ取レナイヂヤナイカト仰シヤル、其ノ通リナンダ、併シイツ迄モノシナコトヲシテ居ラレルモノデナイ、取レル時代ニハ取ラナケレバナラヌ、是ニ對スル金ヲ拂フコトハ容易デヤアリマセヌカラ、詰リ輕工業ノ製品ヲ以テ是ニ充テテ支拂ヲ拂ツテ行カナケレバナラヌト云フコトニナルノデ、重工業ト言ハズ輕工業ト言ハズ、餘程力ヲ付ケテ置カナケレバナヌ、國策會社ハ勿論デスガ、國策會社ナラザルモノモ健全ニ發達ヲサシテ置ク必要ガアルノデ、少シナリトモ之ヲ弱ラセルコトハ將來ノ戰後ノ經營カラ見テ、又ソレバカリデナク、戦爭ヲ續ケル上カラ言ツテモドウデアラウカ、寧ロ斯ンナモノハ稅ヲ取ルヨリモ、ソレコソ國家目的ニ奉仕サシタ方ガ得デヤナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデスガ、今一應其ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタノイデス

イカト云フト、是ハ自ラ別問題ダト思ヒマス、現在ニ於キマシテモ、是ハ商工大臣ガ度々色々ナ機會デ申シテ居ルト思ヒマスガ、所謂東亞共榮圈ト云フモノヲ廣ク見マシテモ、ソレニ供給スルダケノコトデハ今ノ日本ノ紡績工業能力ハ大イニ餘ル、斯ウ云フ計算ニ相成ル譯デアリマス、デ戰後ドウナルカ、コ、モ考ヘナケレバナリマセヌ、サウ云フ觀點カラ紡績ト云フモノニ對シテノ處理ヲ矢張リ全體的ニ考ヘナケレバナラヌ、唯現在原棉ガ手ニ入ラナイカラ、今ノ原棉ヲ處理スルニハ是レ位デ宜イト云フノデハナク、原棉ガ手ニ入ルト考ヘテ、需要總力カラ考ヘテ、ドノ位ニナルカト云フコトモ考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマシテ、十分ニ慎重ニ其ノ點ハ考ヘテ參リツ、アリマス、ソレカラ事業自體ノ内容カラ申シマスルト、隨分紡績業ハ非常ニ内容ガ宜シイノデアリマス、殊ニ大體日本内地ニアリマス紡績業ハ、一面在華紡、是ハ會社ノ名前ハ違フカ知リマセヌガ、實ハ同ジ資本系統ヨリ出テ居リマス、殊在華紡ノ利益ハ相當大キナモノガアッタノデアリマス、皆何レモ内容ハ堅實ト申スカ力、寧ロ私ハ張切ッテ居ルト思フ位デアリマシテ、マア率直ニ申上ゲマスト、其ノ利益譯デ、會社自體トシテノ内容ハ極メテ良イモノト思ツテ居リマス

タコトハ、斯ウ云フ時局ニ際シテハ眞ニ考
フベキコトデアリマシテ、誠ニ結構ナコト
ト思ハレルノデアリマス、就キマシテハ政
府ハ今後更ニ一段ト之ヲ強化シテ、他ノ一
般稅法ノ上ニ表現サレルヤウナ御考ハゴザ
イマセヌデセウカ、其ノ點ヲ先ツ伺ヒタイ
ノデアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 健全ナル國民ノ
人的一基礎ハ健全ナル家族ニアル、家ヲ中心
ト致シマシテ立派ナル子弟ヲ多數ニ教育
シ、育テ上ダテ行クト云フコトガ國家ノ根
本ノ問題トシマシテ極メテ是ハ大切デアルト
思ヒマス、御述ノ御趣旨モ其處ニアルト思
ヒマス、今回家族撫除ナドヲ考ヘマシタ點
モ今御述ノヤウナ其ノ點デアリマスガ、斯
ウ云フ方向ニハ適切緊要ナ施設ハ出來ルダ
ケ講ジテ参リタイ、一般的ニモサウ考ヘテ
居リマス

○子爵綾小路護君 更ニモウ一ツ伺ヒタイ
ノデスガ、今回ノ戰爭ニ於キマシテ、傷痍
軍人ノ數ハ相當ノ數ニ上ダテ居ルト考ヘラ
レマス、是等ノ名譽アル傷痍軍人ノ人々ニ
對シマシテ、政府ハ適當ナル優遇ノ途ヲソ
レゾレ御講ニナッテ居ルト云フコトハ考ヘ
ラレルノデアリマス、又民間ニ於キマシテ
モ熱烈ナル慰安其ノ他ノ様々ノ犒ヒノ途ヲ
盡シテ居ルコトハ我々ガ日常目擊スル事實
デアリマス、サウ云フ傷痍軍人ニ對シテ政
府ハ只今申上ダル通り有ラユル機會ニ優遇
ノ途ヲ講ジテ居ラレルノデアリマスガ、稅
法ノ上ニ於キマシテモ其ノ優遇ノ意ヲ現ハ
シ其處ニ反映サセルト云フ御考ハ無イノデ
アリマセウカ、尤モ納稅ト云フコトハ納稅
者ノ一面名譽ノコトデアルコトハ勿論デア
リマスガ、又財力ノ上カラモ考ヘナケレバ

○國務大臣(賀屋興宣君) 健全ナル國民ノ
人的一基礎ハ健全ナル家族ニアル、家ヲ中心
ト致シマシテ立派ナル子弟ヲ多數ニ教育
シ、育テ上ダテ行クト云フコトガ國家ノ根
本ノ問題トシマシテ極メテ是ハ大切デアルト
思ヒマス、御述ノ御趣旨モ其處ニアルト思
ヒマス、今回家族撫除ナドヲ考ヘマシタ點
モ今御述ノヤウナ其ノ點デアリマスガ、斯
ウ云フ方向ニハ適切緊要ナ施設ハ出來ルダ
ケ講ジテ参リタイ、一般的ニモサウ考ヘテ
居リマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 今御說ノ如ク、
傷痍軍人、或ハ戰死者ノ遺族等ニ對シマシ
テ十分ノ途ヲ講ズルト云フ必要ガアリマス
コトハ申ス迄モナイコトデアリマス、稅法
ノ上ニ於キマシテモ、只今傷痍疾病者ノ恩
給、ソレカラ遺族ノ恩給年金ニ付キマシテ
ハ所得稅ヲ免除シテ居リマスノデ、適當ナ
考慮ガ拂ツテアリマス積リデアリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) モウ別ニ大藏
大臣ニ對ス御質問ハゴザイマセヌカ……、
何モ御質問ガナイヤウデゴザイマスカラ、
是デ質問ハ終了ト云フコトニ致シタイト存
ジマスガ御異存ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ直グ
是カラ討論ニ入リタイト思ヒマス、別ニ御
發言モナイヤウデゴザイマスカラ、是デ全
體ノ增稅法案ニ付キマシテ、皆サン御贊成
ト認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 御異議ナイト
認メマス、是デ本委員會ハ全部終了致シマ
シタ、散會致シマス

出席者左ノ如シ

午前十一時四十三分散會

委員長 伯爵樺山 愛輔君

副委員長 男爵松岡 均平君

子爵綾小路 護君

子爵野村 益三君

子爵大河内 輝耕君

子爵西尾 忠方君

吉田 茂君

内田 重成君

田邊 治通君

三浦 新七君

松村 義一君

堀 啓次郎君

野村 德七君

上野喜左衛門君

男爵中御門 經民君

同 同

國務大臣

國務大臣 鈴木 貞一君

國務大臣 賀屋 興宣君

內務省地方局長 成田 一郎君

内務書記官 小林 千秋君

大藏省主税局長 松隈 秀雄君

大藏書記官 深澤 家治君

池田 勇人君

平田敬一郎君